

機械器具(51) 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 ポンプ用経腸栄養延長チューブ 12170042

アトム延長用チューブ GS

再使用禁止

【警告】

- 1) 経腸栄養ライン以外への誤接続がないよう充分確認して使用すること。
[栄養剤の血管内投与などの重大事故につながるおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

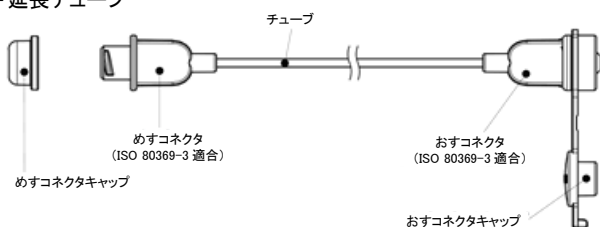
- 1) 再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 各部の名称

- ・本品は、ポリ塩化ビニル(可塑剤:トリメリット酸トリ(2-エチルヘキシル))を使用している。

・延長チューブ



2. 体に接触する部分の組成

ポリ塩化ビニル、アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体

3. チューブ

フレンチサイズ (Fr)	外径 (mm)	有効長 (cm)
4	1.35	60
		100
6	2.0	60
		100

【使用目的又は効果】

経腸栄養注入セット、経腸栄養カテーテルに接続し栄養供給ラインを延長するためのチューブである。

【使用方法等】

- 1) 包装を開封し、本品を取り出す。
- 2) キャップを外し、おすコネクタおよびめすコネクタをそれぞれの接続相手と確実に接続する。
- 3) 漏れ等の異常がないことを確認した上で栄養投与を行う。
- 4) 使用後は感染防止に配慮し、適切な方法で処分する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- 1) 閉塞を引き起こす可能性があるため、コネクタ接続の際には本品や経腸栄養投与セット、経腸栄養カテーテル等にねじれがないよう注意すること。
- 2) おすコネクタおよびめすコネクタは確実に接続し、接続部に緩みや外れがないか定期的に確認すること。
- 3) おすコネクタおよびめすコネクタ着脱の際はコネクタ部を保持し、本品や経腸栄養投与セットおよび経腸栄養カテーテルのチューブ部を引っ張らないよう注意すること。
- 4) 使用中は漏れや閉塞等の異常がないか定期的に確認すること。
- 5) 接続部に緩みが生じやすくなるため、接続の際は接続部に栄養剤等が付着していないことを確認すること。

- 6) めすコネクタのフタを閉める際は、フタの外れや漏れが起こらぬよう確実に行うこと。
- 7) めすコネクタのフタを外す際は、ゆっくり慎重に行うこと。
[本品が破損するおそれがあるため。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 本品の延長チューブのコネクタは ISO 80369-3 に適合しているため、当規格外形形状の栄養投与セットや栄養カテーテルとは接続できない。
- 2) 栄養投与の前後は、必ず微温湯によりフラッシュ操作を行うこと。
[栄養剤等の残渣の蓄積によるチューブ詰まりを未然に防ぐ必要があるため。]
- 3) 栄養剤等の投与または微温湯などによるフラッシュ操作の際、操作中に抵抗が感じられる場合は操作を中止すること。
[チューブ内腔が閉塞している可能性があり、チューブ内腔の閉塞を解消せずに操作を継続した場合、チューブ内圧が過剰に上昇し、チューブが破損または断裂などのおそれがあるため。]
- 4) チューブが閉塞した場合は、詰まりを解消する操作は行わず、本品を交換すること。
- 5) 本品の使用限度圧は 150kPa である。
- 6) 本品を鉗子等の硬いもので挟まないこと。
- 7) 本品が劣化するおそれがあるため、レモン油を含む栄養剤は使用しないこと。
- 8) 本品は一週間を目安に交換すること。
- *9) おすコネクタキャップを閉める際は、おすコネクタキャップの外れや漏れが起こらぬよう確実に行うこと。また、キャップは真上からまっすぐ閉めること。
[変形し、閉まらなくなるおそれがあるため。]

＜相互作用(他の医薬品・医療機器との併用に関する事)＞

【併用注意】(併用に関する事)

- 1) 散剤等(特に添加剤として結合剤等を含む薬剤)の投与は、チューブ詰まりのおそれがあるので注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、高温多湿、直射日光を避けて保管する。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載[自己認証データによる。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1
TEL:048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)